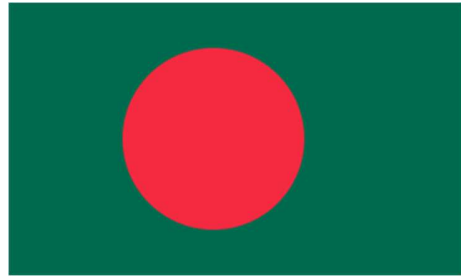


バングラデシュ人民共和国

首都：ダッカ

面積：14 万 7570 平方キロメートル
(日本の約 4 割)

人口：1 億 6,911 万人



2022 年バングラデシュ・日本外交関係樹立 50 周年記念

民族：ベンガル人が大部分を占める。

チョットグラム丘陵地帯には、チャクマ族等を中心とした少数民族が居住している。

言語：ベンガル語 その他少数民族の言語

宗教：イスラム教徒 90.4% その他（ヒンズー教徒・仏教徒・キリスト教徒）9.6%



国花：睡蓮

平均気温：3 月～10 月 25～30℃

12 月～2 月 10～15℃

政治体制：共和制（一院制議会・350 議席）

国家元首：Md. アブドゥル・ハミド大統領

政府首班：シェイク・ハシナ首相

主要産業：衣料品・縫製品産業・農業

主要資源：天然ガス・石灰岩・石炭・セラミック用粘土

通貨：タカ

日本への輸出品：衣類・ニット製品・革製品・ホームテキスタイル製品・靴

日本からの輸入品：鉄鋼・輸送用機器・機械・電気機械装置・鉱物性燃料

友好都市：ナラヤングンジ市-徳島市（2020 年）



ロイヤル・ベンガル・タイガー



世界遺産：シュンドルボン世界最大マングローブ天然林

地理：日本から 4768 キロ西南西に位置する。国土の大部分はインド亜大陸のベンガル湾沿いに形成されるベンガルデルタと呼ばれるデルタ地帯である。このデルタ地帯を大小の河川やカールと呼ばれる水路が網の目のように走っている。沼沢地とジャングルの多い低地であり、ジャングルは、絶滅危惧種ロイヤル・ベンガル・タイガーの生息地として知られている。主要都市のひとつであるチョットグラムの南に位置するコックスバザールは、海岸線が 125km 続く世界最長の天然のビーチであり、多くの観光客で賑わっている。



世界遺産/自然遺産

パハルプールの仏教寺院遺跡群	1985 年登録
バゲルハットのモスク都市	1985 年登録
シュンドルボン国立公園	1997 年登録

コックスバザール：125km の世界最長ビーチ

バングラデシュの食：魚・肉・豆・野菜のカレー・豆のスープ・米・紅茶

バングラデシュの土産物：ジャンダニ・シャリー（ユネスコ無形世界遺産綿織物の伝統衣装）

ノクシカタ手刺繍・手編み籠・革製品・セラミック製品



バングラデシュ大使館

東京都千代田区紀尾井町 3-29